

やさしい日本語 研修会

日本語の理解が不十分な外国人にも、「やさしい日本語」を使うことで、よりわかりやすく伝えることができます。

災害時におけるやさしい日本語研究の第一人者である、弘前大学 佐藤和之 教授にご指導いただき、第1回「概説編」では、やさしい日本語の必要性やその有効性また具体的な活用例などについて、第2回「演習編」では、実際の言い換え方法を実践的に学びます。

西日本豪雨でも
役立てられています！

「水(みず)を 無料(むりょう)で もらうことが できます お金(かね)は いりません」
「〇〇語(ご)が 使(つか)える 医者(いしゃ)が います」といった、インターネットで
公開されている「やさしい日本語」のポスターが、避難所でも活用されています。

(参考) 朝日新聞デジタル (2018.7.16) <https://www.asahi.com/articles/ASL7F5FZRL7FPTFC011.html>

「やさしい日本語」とは

普通の日本語よりも簡単で、外国人もわかりやすい日本語のことです。これは、地震などの災害が起こったときに有効なことばです。1995年1月の阪神・淡路大震災では、日本人だけでなく日本にいた多くの外国人も被害を受けました。その中には、日本語も英語も十分に理解できず必要な情報を受け取ることができない人もいました。そこで彼らが災害発生時に適切な行動をとれるように考え出されたのが「やさしい日本語」です。

(弘前大学人文学部社会言語学研究室 「減災のための『やさしい日本語』」 <http://human.cc.hirosaki-u.ac.jp/kokugo/> より転載。)

第1回 やさしい日本語 - 概説 -

講師 弘前大学 人文社会科学部 教授
佐藤 和之 氏

日時 平成30年8月24日(金)
13:30 ~ 16:00

対象 ・行政や公共機関などにお勤めの方
・外国人との接点がある方
・災害時の外国人支援に関心のある方など

会場 マリオス 18階 会議室 188

参加費 無料
お申込み ①お名前(フリガナ)、②ご所属、③連絡先(電話番号、Eメール)を、岩手県国際交流協会までお知らせください。

予 告 第2回 やさしい日本語 - 演習 -

日時：平成30年9月7日(金) 13:00 ~ 16:00
会場：いわて県民情報交流センター(アイーナ)内

第1回の概説を受講した方を対象に、「やさしい日本語」への言い換えを実践的に学びます。
お申込み等は、第1回の研修会にてご案内します。

主催・お問い合わせ



公益財団法人 岩手県国際交流協会
Iwate International Association

〒020-0045 盛岡市盛岡駅西通 1-7-1 アイーナ 5階国際交流センター
TEL : 019-654-8900 / FAX : 019-654-8922 / Mail : event-iaa@iwate-ia.or.jp